

avancer 『アヴァンセ』

令和5度・第2号

令和5年6月吉日 所長 海老澤政昭

九州北部から東海にかけての5つの地方が梅雨入りしました。東海地方は昨年と比べると16日早い梅雨入りです。

さて、この時期はジャガイモの収穫時期になります。梅雨の合間を縫っての収穫になります。キタアカリの収穫はすでに終了しました。これから、メイクインの収穫になります。キュウリの初収穫がありました。梅雨の時期は、あっという間に雑草が伸びてしまいます。雑草との本格的なせめぎあいの始まりです。この雑草をあえて除草しない農法もあります。自然農法といいます。とても根気が必要な農法ともいえます。

以前、実験的に、丁寧に除草したキャベツの畝と比較的雑草を伸ばした状態の畝を比べたことがあります。除草された畝のキャベツは虫食いが非常に多く、雑草の中に育つキャベツにはほとんど虫食いがありませんでした。雑草の中に隠れてしまったため、チョウチョが羽を休めることができなかつたからかもしれません。

ごうでいんぐでは、なるべく有機栽培に近い方法で栽培しています。適度に施肥も行ないます。本格的な有機栽培から自然農法へ転換していくためには、しっかりとした移行計画が必要と考えます。収量は一時的に減少するといわれます。土の中に残る肥料等の成分が抜けるまでにはある程度の時間が必要で、抜けてから、次の段階に入るそうです。肥料を全く使用しない栽培は無肥料栽培といいます。肥料を使用せず、雑草と共存し合う中で育つ作物は、野性味にあふれ、まさにフレッシュな作物なのかもしれません。

自然農法も無肥料栽培も人の手が全く入らないわけではありません。自然の力を利用し、極力手を入れずに育て上げることが重要なポイントなのでしょう。ごうでいんぐの農業はまだまだ発展途上です。

第1回火災想定避難訓練を実施しました

5月10日（水）15時より、事業所全体の火災想定避難訓練を実施しました。時間的に就労B型、生活介護は、各指導訓練室の掃除、放デイは、早帰りの日でおやつ準備中という設定です。今回の出火元は、放デイの指導訓練室小の部屋から出火です。通常はあり得ないことですが、何が起こるかかわからに事を想定して避難訓練を実施しました。回数を重ねているため皆落ち着き、支援員、指導員の指示に従って避難することができました。



就労B型



生活介護



放デイ



カフェがんじょっぱらプチリニューアル

待ちに待ったリニューアルが進み、新メニューが始まります！世の中の物価高もあり一部値上げもさせていただきますが、できる限りリーズナブルな価格で販売していきたいと思っております。新メニューには、パスタやカレーがあり、ごうでいんぐ岩世ヶ原の畑で採れた野菜のトッピングがつかます。

また、かき氷も始めますのでお気軽にお寄りください。焼き立てパンの夏季限定商品も思案中です。



【編集後記】

多機能型ごうでいんぐ岩世ヶ原では、畑作業やカフェ、放デイの子どもたちの活発な課題挑戦など、活気に溢れています。梅雨に突入したこれからも体調に気をつけて過ごしましょう。